

	活動名	実施回数	参加人数											合計	内 容	成 果 と 課 題
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア						
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
子 ど も 育 成 機 能	(2)あそぼうDay将棋	12		3	131		33							167	本将棋だけでなく、はさみ将棋・かえるとび・山崩し・ひよこまわりなど、将棋の駒を使った遊びを通して将棋に親しみを持つ。	将棋クラブの子ども達が積極的に参加し、楽しんでいる姿を見て様子を見に来た他の子どもも将棋に興味を持ち参加する姿が見られた。来年度は、ボランティアさんにも来てもらえるようになれば本将棋をする子どもが増えると思うので、声をかけていきたい。
	(3)エコの日	12			251		39	1						291	エコについて考える日を設ける。クイズ形式にしたり、子ども達が楽しんで取り組めるような内容とする。	自分達の行動が、環境にどのような影響を与えるかなど、環境について考えるいい機会となった。日々のおやつのごみの分別を考えたり、4月から改定される京都市のごみ分別の学びにもなった。
	(4)おりがみクラブ	12		37		2	8							47	おりがみを通し、手先の器用さや集中力の向上を図る。季節の作品を作り、季節感も楽しむ。	手先の不器用な子も一生懸命参加し、作品を作り上げていた。また、折り紙が上手な子が教えてあげる場面も見られ、みんなで折り紙を完成させるという雰囲気を作れた。
	(4)きりがみクラブ	12			17	23								40	年12回のクラブを通して内容を難しくしている、技術と集中力の向上を図る。また、出来上がった時の達成感や楽しさを味わう。	登録数が少なかったため、次年度募集の際には、クラブの内容や様子がわかるようにする。また学年によって出来栄に差があったため、児童のレベルに合わせた内容を考える必要がある。
	(2)あそぼうDay卓球	12			31	38	5							74	卓球を楽しみたい子や、卓球の練習をしたい子が参加し、技術を身につけることができた。また、異年齢同士で対戦することで、異年齢交流ができた。	
	(4)卓球クラブ	16				38								38	卓球の技術向上、多世代との交流。様々な交流を通して礼儀やマナーを覚える。	今年度は高学年児童のみの登録となったが、自身の持っている技術を教え合ったり、試合をして勝負の楽しさを味わったりすることができた。練習メニューもたくさん用意し、自分たちで練習メニューを組み合わせて、積極的に取り組んでいた。
	(4)将棋クラブ	12	7	45	34	1	2		16				1	106	小学生以上の希望者対象の登録制クラブ。将棋の棋力向上を目指す。	コロナが落ち着いてきた3月に、コロナ前まで来ていただいていたボランティアの方にお越しいただき、子どもと対局をしていただく。子どもたちも楽しんでいた。次年度以降も引き続き、ボランティアの方に来ていただく予定。

子ども 育成 機能	基本 活動	(4)きりえクラブ	14		14	16	15	12					57	きりえの楽しさや、出来上がった時の達成感を味わう。継続的に取り組み、技術の向上を図る。	それぞれの技術や好みに合わせて楽しく活動できた。児童館まつりで作品を展示できたことが子どもの自信と意欲になった。	
		(4)Smileクラブ	12				67	7					74	高学年から18歳までのクラブ。クッキング、工作、館外活動など毎月の活動内容を話し合い、取り組み、できたときの達成感を味わう。	自分たちで話し合い、色々なことを決めることができていた。ふざける時もあったが、きちんとする時はできていた。嵐山の散策ではルールを守り成長を感じることができた。	
		(2)けん玉週間	12			396							396	けん玉に親しむ。練習を重ね検定に挑戦し、合格した時の喜びや達成感を味わう。	1年生は積極的に挑戦し検定に取り組む姿が多く見られたが高学年の参加が少ない。	
		(2)あそぼうDay トランポリン	9	2		141		20		2			165	トランポリンに挑戦し、遊びのルールを知り楽しむ。	何度も繰り返し取り組むことで、飛び方やルールが身についてきた。おたよりをみて参加される幼児さんもおおり、楽しみにしている人も多い。	
		(3)避難訓練	10		7	272		48	4				331	自分達の身の回りの危険や災害を知り、避難の仕方を学ぶ。	意識を持って取り組んでいる子が多かった。避難経路の確認にもなるので、継続して行ってきたい。不審者の訓練ができていなかったため、今後は不審者の訓練にも取り組んでいく必要がある。	
		(7)おぼけやしき 子ども実行委員会	4				17	1					18	児童館事業おぼけやしきに向けて、内容を考えたり作り物を作成する。	自分たちのやりたいことをイメージし、形にできることで達成感を得られることができた。また、準備から子ども同士で話し合い、より良くしたい気持ちの見える子が多く、参加者も自分達も楽しめていた。さらに、参加する年齢に合わせて脅かし方も変える等工夫している様子が見られた。	
		(7)おみせやさんごっこ 子ども実行委員会	3				7	8					15	子ども達自身が活動を企画・運営し、自主的に活動する。店の内容から、配置まで自分たちで考える。対象：4年生以上	高学年の集まりで、自分達が主体的に動けることに意欲を見せていた。役割分担や準備作業もスムーズに進んだ。	
		(3)おみせやさんごっこ	1			29		13					42	買うものを自分で選び、支払いまでを経験する。決められた金額の中で買い物をし、計算や考える力を身につける。	買い物に時間がかかる子もいたが、自分で選んで買うことができていた。また、実行委員も本番の時は声を出して呼び込みをしたり、商品説明をしたり、わからない子には説明をしたりしていた。 ・コロナ感染者数が増えたため、感染拡大防止のため、学童クラブ児童のみの参加とした。	
		(3)本のポップ作り	1		14		9								児童館学童連盟主催のポップコンテストに出す作品作りを実施。	児童自らが好きな本を能動的に選び、ポップ作りに取り組むことができた。ポップのイメージを形にすることは難しい児童もいたが、積極的に作品を作る姿が見られた。
		(5)交通安全教室	1			20		3					23	右京警察署と嵐山交通安全推進委員会の方々と連携し、子ども向けに交通安全教室を実施。交通のお話や模擬歩行訓練、横断歩道を渡るダンスを行った。	参加人数が少なかったため、模擬歩行訓練には全員参加できた。話もわかりやすく、子どもたちも警察官の問いかけに答えたりと、積極的に参加していた。	

		(2)きりえ	2	1	1	22	2	5					31	カッターの使い方など、安全に気を付け、丁寧に指導する。級を設定し、意欲的に取り組めるよう働きかける。干支のカレンダーの作成も行う。	カレンダーの完成を見て達成感を味わっていた。来館で幼児の参加もあった。きりえを実施したのが年始のカレンダー作りのみだったので、来年度はもう少し増やしていく。		
子ども 育 成 機 能	基 本 活 動	(3)おばけやしき	1	7	14	6	6						8	おばけやしきの当日準備、開催を担当し、自分たちで開催することの楽しみや開催後の達成感を味わう。	いつもの児童館と少し違う雰囲気で、怖がっている子もいたが、楽しく参加してもらえた。延期になっていたが、どうしても行きたいと言って参加してくれる子もおり、実施で来て良かった。		
		(3)親子陶芸教室	3	7	12	14	2	4	1	15				55	講師の方に基本的な技術や作り方を学び、自分だけの作品を作る。自分で考えたものを作り上げる楽しさや達成感を味わう。	3部制にして1日で行う。密にならず講師も3名来てくれたのでゆっくりと行うことができた。親子参加も多く、大人も子どもも楽しんでた。	
		(7)ハロウィン子ども実行委員会	3					10						10	児童館事業ハロウィンに向けて、内容を考えた作り物を作成する。	乳幼児から小学生まで楽しめる内容を自分達で考え、形にすることができ、当日を迎えることができた。準備から参加することで、イベント実施の大変さや達成感も味わってもらえた。	
		(3)ハロウィン	1	21	18	5	4						21	3	72	児童館で仮装をしたり、ゲームコーナーを回りお菓子をもらい、ハロウィンを楽しむ	参加もたくさんあり、例年よりにぎやかなハロウィンに戻った印象だった。乳幼児親子さんも楽しんでもらえる内容だった。
		(3)さがじどうかん子どもまつり	1	42	16	6	5	1					33	103	開館記念行事として、いつもの児童館で、いつもと違う遊びや雰囲気を楽しむ。	今年度は昨年度よりも参加枠を広げ、親子や友達同士で参加してもらうため、定員を15名から15組とした。親子や友達同士での参加もあり楽しんでもらった。	
		(7)クリスマス会子ども実行委員会	3		3			21	2					26	季節の行事を自分たちで企画し、クリスマス会を楽しむ。子どもたちのリーダーとして活躍する中で、計画する力や責任感を養い、達成感を味わう。対象：3年生以上	クリスマス会の流れから、内容まですべてメンバーで決め、準備もできた。当日は進行しながら楽しんでたが、進行などを1名が仕切り目立ってしまった。	
		(2)つくってみよう	2	3	4	54	3	11						4	79	作ることの楽しさや、出来上がった時の喜びを知る。今年度は年2回実施する。アイロンビーズとクリスマスツリーを作る。	一回目はアイロンビーズをする。図案が難しくなかなか進まない人もいたが、希望者は全員することができた。12月は円型に切った大きさの違う画用紙を重ねてクリスマスツリーを作る。作業工程が多く人によって、出来栄やかかる時間に差があった。
		(3)クリスマス会	1	4	20	5	11			1	4	1		46	実行委員会メンバーを中心に、企画した季節行事を楽しむ。学童クラブ児童のみでなく、自由来館児童や乳幼児親子も一緒に参加し、交流する。	クイズやゲームなど、参加者は楽しく参加でき喜んでた。来館の高校生にサンタになってもらい盛り上がったので、継続させていきたい。	

		(3)おおそうじ	1			16		4					20	1年間使った児童館をきれいにする。	学年ごとに担当の場所を分け、掃除を行った。雑巾がけや棚拭きをして自分たちが使った児童館を綺麗にした。どの児童も積極的に掃除に参加している様子がみられた。	
子ども育成機能	基本活動	(2)こま週間	14			96		22					118	こま遊びへの意欲や親しみを持たせ、技術の向上や、遊びの発展につなげる。根気を養い、達成感を味わう。	多くの子がこまの練習を熱心に行っていた。最初は回せなかった子も諦めずに練習し、検定合格につながった。1年生が積極的に参加していた。	
		(3)むかしあそび	1	2	1	5	2					1	11	昔遊びに親しみ、楽しさを知る。	参加者のほとんどがチャレンジカードをもとにむかしあそびを楽しんだ。事前の周知が少なかったため、自由来館の参加者は少なかった。次年度に実施する際は、事前に周知をおこない、地域住民の方にも参加をしてもらえるようにする。	
		(3)卓球大会	1			1	1							2	卓球を通して違う学年の子や大人と交流を持つ。お互いを応援し合ったり、相手を認めたりする。	大会に申し込んだのが2名で、地域の方にも声掛けをしたがコロナも流行っているということで参加されず、参加人数が少なかった。しかし、参加者同士が応援をして、励まし合いながらの対戦ができた。
		合 計	189	96	209	1568	284	236	19	104	1	3	1	2498		
	推進活動															
		合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		子ども育成機能 合 計	189	96	209	1568	284	236	19	104	1	3	1	2498		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和4) 年度 児童館事業年間活動報告書 (嵯峨) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数								合計	内 容	成 果 と 課 題			
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア						
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生				大学生	大人	
子 ど も 基 本 家 庭 支 援 活 動	②のびのびタイム	24	55							52				107	児童館で自由にすごしてもらおう。不定期で実施。	遊びに来られた方は、職員と話したりのんびり遊んでいた。
	②あかちゃん広場	12	50							52				102	おもちゃや遊具を出して自由にすごしてもらおう。週1回実施。	夫婦共育休を取得する家庭が増え、父親の参加も増えた。人と話したくて参加される方が多くふわふわクラブへつなげる良いきっかけとなる。
	②あそびの広場	26	113							114				227	おもちゃや遊具を出して、自由に遊んですごしてもらおう。ふれあいあそびも定期的の実施。どうぶつ体操をして終了する。週1回実施。	保護者の交流や情報交換をしたり、日頃の悩みや愚痴なども話されていた。母のリフレッシュの場としても必要とされていた。
	②ばんだ広場	12	70							68				138	はぐくみ室、児童館学童連盟と協力・連携をして実施。子どもたちが遊んでいる様子を見てもらいながら、子育てや発達について相談できる場を提供する。月1回木曜日に実施。	ばんだ広場を紹介されて相談に来られた方が数組おられた。相談したい保護者はたくさんおられることに気付いた。児童館と関係機関とがしっかりと連絡を取り合い、支援につなげていきたい。
	②ヨガ	12	14							31				45	講師に依頼し、お母さんたちのリフレッシュ及び健康維持を目的に実施。子どもも一緒に参加できるマッサージなども教えてもらえる。	参加者が定着せず少なく、0人の時もあった。ヨガを開くことの必要性を考え来年度は見送る事となる。
	①おひさまクラブ	28	176							171				347	登録制のクラブ。1歳児対象。火曜日10:30～11:15に実施。体操や設定遊びをする。	参加する保護者は楽しみながら参加していた。保護者同士も仲が良く子育ての話をよくしていた。
	①ふわふわクラブ	28	238							231				469	登録制のクラブ。0歳児対象。月曜日11:00～11:30に実施。体操や設定遊びをする。	毎回参加者が多く、母同士で話しをしながら楽しんで参加していたが、保護者同士のお喋りが多く注意することもあった。
	①にこにこクラブ	28	160							8	140			308	登録制のクラブ。2歳児以上対象。水曜日10:30～11:30に実施。体操や設定遊びをする。	今年度から繰り上がり方式にする。おひさまクラブから毎月上がって来るため人数が増えるが、幼稚園や保育園で途中から来なくなる子どもも多かったため、参加人数は毎回15組程度で丁度よかった。
	(2)子育て講座「トイレトレーニング」	1	6								6			12	講師の先生に来ていただき、トイレトレーニングについて講義を行う。	参加していた保護者は講師の話をしっかり聞き、質疑応答も多く出た。
	(2)わくわくキッズランド	1	27	1							22			6	56	乳幼児親子向けのおまつりとして実施。西部まち美化事務所に依頼して、服のリユース会も実施した。

子 ど も 家 庭 支 援 活 動	基 本 活 動	(2)子育て講座「おもちゃ」	1	10					11			21	講師の先生に来ていただき、おもちゃの楽しみ方等について話していただく。	乳児クラブの中で行うが好評だったため、様々な月齢の保護者に参加してもらえる工夫したい。	
		(2)子育て講座「離乳食」	1	7					8			15	講師の先生に来ていただき、離乳食について講義を行う。	参加していた保護者は講師の話をしっかり聞き、質疑応答も多く出た。試食があり分かりやすいと好評だった。	
		(2)子育て講座「絵本は親子で楽しもう」	1	12					12			24	講師の先生に来ていただき、絵本の楽しさ等について話していただく。	ここにクラブでの取り組みになる。参加者は楽しんで参加していた。	
		合 計	175	938	1	0	0	0	8	918	0	0	6	1871	
	支 援 活 動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容		件数	つないだ機関等		件数
			乳児 幼児	10 50	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所				55	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他		21 39	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校		8
			小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童）	18	子ども支援センター 主任児童委員 その他				7	学童クラブ個人懇談での今後の生活についての相談等		22	総合支援学校 その他 { 福祉ひろば }		1
			小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童）	4											
			中学生 高校生												1
	件数 計	82	-				62	-		82	-		10		
推 進 活 動	(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容		成 果 と 課 題					
(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題								
	「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」の引換え		地域の子育て家庭の保護者が持参した京都市発行の無料引換券を京都市家庭ごみ有料指定袋と引き換える。				引換えのために来館された際、児童館だよりを渡して利用につなげることができた。								

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	基	活動名	実施回数	主 催	参 加 人 数						連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合 計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
(1) 地域住民との交流を促進する活動		Pingpong	43	嵯峨児童館							132	132		
		らんらんサロン	11	嵐山民生児童委員協議会	31						31	10		参加者が0人の時もあり、乳幼児クラブで声をかけたら参加者が増え参加者が定着した。
		ぱくぱくクラブ	2	嵯峨児童館	7						7	14	母親クラブ	二回目の参加者もあり、楽しんで味噌作りをしていた。
		嵯峨サロン	2	嵯峨民生児童委員協議会	13						12	25	嵯峨民生児童委員協議会	年2回、児童館職員がサロンに赴き、手遊びや読み聞かせなどをすることで、児童館への来館に繋がっている。
		移動動物園	1	嵯峨児童館	106	8					131	245	嵯峨民生児童委員協議会・健光園嵯峨ひかり広場	土曜日開催のため、参加が多い。健光園の利用者の方も参加されるため、交流の機会となっている。
		合 計	59	—		157	8	0	0	0	0	313	426	
(2) ボランティア活動の推進		活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題					
		交通安全教室			中学生	大学生	大 人	合 計	嵐山交通安全推進会の方に依頼し、実施。子どもたちへわかりやすくお話をしてくださり、子どもと地域の方を繋ぐ機会となった。					
		合 計	0	0	1	0								
(3) 地域との連携を促進する活動		連 携 団 体 等	連 携 内 容						成 果 と 課 題					
		嵯峨民生児童委員協議会	「子育てほっとサロン」に定期的に出向き、ふれあいあそびなどあそびの提供を行う。移動動物園を共催で実施。チラシ・ポスターの配布・掲示、児童館だよりの配布。						2回主催するが、参加者がその後児童館へ来てくれるきっかけとなった。					
		嵐山民生児童委員協議会	児童館にて行う「らんらんサロン」において、ふれあいあそびや遊具遊びなど遊びの提供を行う。チラシ・ポスターの配布・掲示、児童館だよりの配布。						乳幼児クラブで宣伝することで、参加者が増えた。今後も声掛けをしていく。					
		学童クラブ保護者会	各児童館行事への参加・協力						協力し合い、事業を進められた。					
		右京区内の児童館	右京ブロック児童館まつり、交流行事など連携						協力し合い、事業を進められた。					
		嵯峨中学校	「生き方探求チャレンジ体験」推進事業受け入れ、児童館だよりの配布・掲示、入学式・卒業式出席						中学生の利用があるので、今後は情報共有しながら連携していきたい。					
		壬生保育所	ばんだ広場、子育て講座への協力依頼						連携を取ることが減ったが、今後も連携は取っていきたい。					
		右京消防署	避難訓練の実施依頼						消火訓練も行い、避難方法等についても話してもらおう。					
		右京警察署	幼児クラブでの警察署見学、交通安全教室への協力依頼						交通安全教室では、道を歩く時や自転車に乗る時に気を付けることを話していただき、ダンスをする。楽しく交通ルールが学べた。					
		右京老人福祉センター	児童館だよりの配布・敬老の日のカードをプレゼント						敬老の日のカードを子どもたちが作成し、右京老人福祉センターへ来られる方へプレゼントをした。お礼に折り紙で折ったおはし袋をいただき、直接会えなかったが、交流できた。					
		右京区社会福祉協議会	児童館だよりの配布						児童館の存在や事業のPRとなった。					
		右京子どもはぐくみ室	子育て講座への講師派遣依頼、ばんだ広場、乳幼児健診への職員派遣（親子井戸端広場）、地域の子育て支援の情報共有、児童館だよりの配布、はぐくみだよりに児童館の月間予定を掲載						ばんだ広場に毎回学区担当の方に参加してもらい、地域の子育て支援の情報交換ができた。今後も連携を取っていきたい。					
	嵐山小学校	入学式・卒業式出席、運動会の見学、児童館だよりの等全校配布、体育館やグラウンドの借用、児童の様子など情報共有						児童館だよりを全校配布してもらうことにより、学童クラブ児童以外にも行事に参加する児童がいるのでありがたい。また、児童の情報を共有することができた。						

地域福祉促進機能	基本活動	(3) 地域との連携を促進する活動	嵯峨小学校	入学式・卒業式出席、運動会の見学、児童館だより掲示	児童についての情報交換や、行事への参加を引き続き行っていきたい。
			嵯峨ひかり広場	移動動物園の協力依頼、職員研修などで連携	行事の連携だけでなく、地域の乳幼児親子の居場所として、おたより配布の時等情報の共有ができた。
			嵐山自治会連合会	児童館だよりの地域掲示板への掲示依頼、行事への協力依頼	地域掲示板にポスターを掲示してもらうことにより、児童館の事業などPRできている。行事にも協力してもらったり、アピールにもなっている。
			嵐山小学校PTA	児童館だよりの配布、行事への協力依頼	今年度は行事がなかったが、引き続き連携していきたい。
			嵯峨自治会連合会	児童館だよりの地域回覧を依頼	児童館だよりの地域回覧により、児童館や事業のPRができている。
			嵯峨体育振興会	児童館だよりの配布	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立ての一つとなっている。
			嵯峨交通安全推進會	児童館だよりの配布	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立ての一つとなっている。
			右京少年補導委員会嵯峨支部	児童館だよりの配布	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立ての一つとなっている。
			嵯峨小学校PTA	児童館だよりの配布	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立ての一つとなっている。
			嵯峨中学校PTA	児童館だよりの配布	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立ての一つとなっている。
			嵯峨教育振興会	児童館だよりの配布	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立ての一つとなっている。
			嵯峨社会福祉協議会	児童館だよりの配布	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立ての一つとなっている。
			嵐山学区社会福祉協議会	児童館だよりの配布	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立ての一つとなっている。
			嵐山体育振興会	児童館だよりの配布	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立ての一つとなっている。
			嵐山交通安全推進會	児童館だよりの配布、交通安全教室への協力依頼、日常の見守り	交通安全教室には毎年協力していただき、子ども達へわかりやすく話しをしてくださっている。通学路などでも日々見守りをしてくださっていて、子ども達も安心している。
			嵐山女性会	行事への協力依頼、児童館だよりの配布	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立ての一つとなっている。
右京少年補導委員会嵐山支部	館外活動への参加協力依頼、児童館だよりの配布	児童館の存在や事業のPRとなり、連携の手立ての一つとなっている。			

地域福祉促進機能	基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題	
			児童クラブ保護者会	児童クラブ保護者	総会1回 役員会2回	役員選出・予算立て 活動計画・行事企画 他行事への協力	コロナのためほとんど行事ができず、どのような活動があったかわからない保護者が昨年度は多かったため、おべんとういらないDayやプレゼント等を実施し、活動内容をしっかりと全家庭に伝え、協力してもらうよう伝えてもらった。	
			運営協力会	嵯峨教育振興会、嵯峨自治会連合会、嵯峨社会福祉協議会、嵯峨民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵯峨支部、嵯峨交通安全推進会、嵯峨体育振興会、嵐山学区社会福祉協議会、嵐山自治会連合会、嵐山民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵐山支部、嵐山交通安全推進会、嵐山体育振興会、京都市立嵯峨中学校、京都市立嵯峨小学校、京都市立嵐山小学校、京都市立嵯峨小学校PTA、京都市立嵐山小学校PTA、京都市嵯峨児童館児童クラブ保護者会	年2回	活動計画、活動報告 地域の情報共有	児童館の事業内容を報告し、理解や協力を得て連携し合うことができている。引き続き運営協力会での地域の情報交換や共有をしていく必要がある。	
			ステーション会議	嵯峨教育振興会、嵯峨自治会連合会、嵯峨社会福祉協議会、嵯峨民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵯峨支部、嵯峨交通安全推進会、嵯峨体育振興会、嵐山学区社会福祉協議会、嵐山自治会連合会、嵐山民生児童委員協議会、右京少年補導委員会嵐山支部、嵐山交通安全推進会、嵐山体育振興会、京都市立嵯峨中学校、京都市立嵯峨小学校、京都市立嵐山小学校、京都市立嵯峨小学校PTA、京都市立嵐山小学校PTA、京都市嵯峨児童館児童クラブ保護者会、嵯峨こばと保育園、まこと幼児園、うぐいす保育園、若竹保育園	年2回	事業や地域の情報共有	ステーション事業についての打合せや地域の事について共有し、理解や協力を得て連携し実施できている。引き続き会議で地域の情報交換・共有を行う。	
	推進活動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的	提供先(団体・機関等)	成果と課題	
			会場提供		活動	Ping pong	自主的に活動をされている。幅広い年齢層の方が所属されている。最近参加者が少なくなってきた。	
		(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査主体	調査方法	成果と課題	
			児童館利用者共通アンケート	児童館運営に対する意識調査・児童館運営の参考にするため	児童館利用者	京都市社会福祉協議会 児童館	児童はその場で記入・回収。保護者には配布し、後日記入・回収。結果はおたよりにのせて配布。	さまざまな立場の利用者の思いを知ることができ、今後の改善点などが明らかになった。
			乳幼児クラブアンケート	母親の意識調査・次年度の運営の参考にするため	乳幼児クラブ登録者	児童館	配布し記入・回収。	保護者のクラブへの意識を知ることができ、次年度の計画を立てる参考になった。
			子育て講座アンケート	企画に対する意識調査・今後の企画の参考にするため	講座参加者	児童館	その場で記入・回収。講師の方にのみ結果を伝える。	参加者の思いを知ることができ、次年度の企画を考える参考になった。

(令和4) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(嵯 峨) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	じどうかんだより	月1回	児童、嵯峨・嵐山学区地域住民、嵯峨・嵐山小学校、嵯峨中学校、北嵯峨高校、乳幼児クラブ登録者、右京区社協、右京子どもはぐくみ室、右京老人福祉センター、嵯峨ひかり広場	【おたより】来館者に配布、地域回覧、嵐山小学校に全校配布、はぐくみ室・老人福祉センターに置いてもらう、ホームページ掲載 【ポスター】児童館、地域掲示板に掲示	月の行事予定 毎月の行事報告	嵐山小学校への全校配布は目を通してもらいやすい。ホームページにも載せているので、他学区の利用者も確認でき、来館された。
	わくわくキッズニュース	月1回	児嵯峨・嵐山学区地域住民、嵯峨・嵐山小学校、嵯峨中学校、北嵯峨高校、乳幼児クラブ登録者、右京区社協、右京子どもはぐくみ室、嵯峨ひかり広場	来館者に配布、地域回覧、ホームページに掲載	乳幼児親子向けの行事予定 地域の子育て情報	2ヶ月前の予定を載せることの意味が最近ではあまり感じられず、ホームページでの確認が増えてきているため、来年度は見送る事となる。
	乳幼児クラブしおり (ふわふわクラブ・おひさまクラブ・にこにこクラブ)	年1回	乳幼児クラブ登録者	クラブ登録者に配布	クラブの進め方、約束など	乳幼児クラブの流れや約束事などを示すことができたが、約束事については活動の中でも声かけをし、確認していく必要がある。
	学童クラブしおり	年1回	学童クラブ登録者	全家庭に配布	学童クラブの約束など	新入会生説明会ではしおりを使って説明することで、学童での生活のイメージを持ってもらうことができた。継続の家庭には配布のみなので、変更点など伝えていく必要がある。
	さがFriends	月1回	学童クラブ登録者、嵐山小学校校長、嵐山小学校各クラス担任	児童を通して配布	毎月の予定	学童クラブの毎月の予定や連絡事項をお知らせできるのでよい。子どもが保護者に見せずに持ったままの状態の家庭もあるので、保護者にも目を通してもらえるよう声かけが必要。
	さがKids	月1回	学童クラブ登録者	児童を通して配布	毎月の活動報告	児童館での子どもの様子を写真や文章で伝えているので、喜ばれている。
	子育て講座 申込用紙・ポスター	開催時	乳幼児保護者	【ポスター】児童館に掲示、ホームページに掲載 【申込用紙】児童館で配布、ホームページに掲載	日程・詳細等	多くの児童や保護者に行事を知らせることができた。
	ヨガ 申込用紙・ポスター	開催時	地域住民	【ポスター】児童館に掲示、ホームページに掲載 【申込用紙】児童館で配布、ホームページに掲載	日程・詳細等	ホームページを利用している所以他学区の利用者にもつながっている。 ヨガは参加者が定着せず、参加費も頂いているため、来年度は見送る事にする。
	各行事申込用紙・ポスター	開催時	児童、乳幼児保護者、地域住民	【ポスター】児童館に掲示、ホームページに掲載 【申込用紙】児童館で配布、ホームページに掲載	日程・詳細等	
	リーフレット	随時	新規利用者	来館者に配布	社会福祉協議会の行動指針と、嵯峨児童館の利用や行事の予定	初めて来館された保護者や入学予定児童の保護者に児童館での取り組みなど知ってもらうことができた。
	さが子育てほっとサロン ポスター・チラシ	月1回	乳幼児保護者	来館者に配布、ポスター掲示	嵯峨民生児童委員協議会主催のサロンの予定	サロンの予定を知らせることができた。
	嵐山らんらんサロン ポスター・チラシ	月1回	乳幼児保護者	来館者に配布、ポスター掲示	嵐山民生児童委員協議会主催のサロンの予定	サロンの予定を知らせることができた。
	はぐくみ室だより	月1回	乳幼児保護者	来館者に配布	右京区内で事業を実施している機関の行事予定など	右京区内の各機関・施設の事業を来館者に知らせることができた。
	児童館の毎月の行事予定	常時	利用者、地域住民	児童館の掲示板に掲示	行事と日程	来館者にその月の行事予定を知らせることができた。季節を感じられる壁面にしていて、地域の方も楽しみにしてくださっている。